

日本フンボルト協会 2015 年度第 1 回常務理事会議事録

出席者：廣渡清吾、縣 公一郎、西川伸一、梶 英輔、金武直幸、岡林 洋、高橋義人、高橋宗五、
鏝田武志、関 映子（事務局）

日時：2015 年 8 月 8 日（土）14 時 10 分開始 16 時 50 分終了

場所：ドイツ学術交流会東京事務所

報告事項

1. 総会の報告

- ・2015 年度総会は 6 月 13 日に京都府立医科大学で開催され、総会出席者は 75 名であった。
総会の内容については別途の総会報告を参照のこと。
- ・総会の収支決算については添付別紙の通りである。

2. 留学生説明会

- ・全体で参加者は 64 名（分野別の内訳は添付別紙参照）であった。
- ・今回は全体説明会の後で 5 分科会を開催するという方式を採用し、最近（過去 10 年以内に）帰国した 8 名の若手会員が説明を担当し、質問を受けるといった形にした。時間は 1 時間半であったが、参加者のアンケートには短いという指摘があった（アンケート結果については別紙参照）。若手会員が説明するという方式は成功したと考えられるので、今後若手会員のこうした活動への参加を積極的に組織し、また、フンボルトの奨学生としてドイツに行き、そのままドイツに留まっている会員を説明会に呼ぶことを検討し、その旅費について財団から支援の可能性を確認することとした。

3. 年会費の納入状況

- ・現在の納入率は約 31%であり、さらに今後請求手続きをおこない、最低でも 50%を目指すこととする。

協議事項

1. 常務理事の業務分担について

総務担当 縣 公一郎理事

財務担当 高橋輝暁理事

書記担当 高橋宗五理事

渉外担当 井田 良理事

ホームページ担当 鏝田武志理事

総会設営担当 金武直幸理事

なお、次期体制の検討を進めるについて担当常務理事を置くことにつき、検討することとした。また、今後の体制の変更を考慮して協会の運営についてのマニュアル作成を理事長の下で進めることとした。

2. 会報について

- ・総会報告号として会報を発行することとした。情報そのものの伝達は、ホームページで可能であるが、会員全員の手許にとどける文書として、読む魅力のあるものを目指すこととした。

3. 来年度の総会

- ・2016 年度総会は、中部支部を設営担当として名古屋で開催することを決定した。開催時期は、2016 年 6 月 18 日か 25 日とし、留学説明会をあわせて開催するかどうかは中部支部の意向にしたがうこととした。

4. 留学説明会

- ・名古屋で留学説明会を開催する場合でも、これまでの継続性を考慮して、東京でも留学説明会を開催することとした。開催時期は、2016 年 7 月上旬とし、詳細は今後の検討に委ねた。なお、説明会の配布資料として日本語の説明パンフレットを作成するアイデアが出され、実現可能性について検討することとした。
- ・関連して、梶 英輔常務理事（関東甲信越支部長）から筑波大学と関東甲信越支部の共催で留学説明会を 2015 年 10 月 24 日に行う企画が検討されていることが報告された。

5. 賛助会員制度の活用

- ・制度の活用を図る方策を具体化するため、まず、フンボルト財団関係の受賞者に賛助会員としての協力をお願いする手続きを進めることとし、お願いの文書案を次回常務理事会までに準備することとした。

6. ホームページの運営について

- ・ホームページ委員会からの報告（添付別紙参照）に基づき、内容の充実と利用の促進について意見交換を行った。とくに以下の点が強調された。
 - ・支部の協力をえて支部活動の報告をできるだけ迅速に掲載する。
 - ・大学別連絡担当者の活動を強化し、会員の活動や大学での催し物の情報を送るなどホームページとの連携を強める。このため、大きな大学では部局ごとに責任者をおき、また、大学内でのネットワークの構築を図るなどを支部で検討する。

7. 支部活動について

- ・総会時の常務理事・支部長合同会議には、支部長代理を含めて全支部から出席した。
- ・今後支部長に協会運営の全体にコミットしてもらい、それにより支部活動の強化を図る趣旨で、総会時の他にも常務理事会への支部長の参加の機会を確保することを確認し、次回常務理事会に支部長の出席を求めることとした。

8. その他

- ・名誉会員の件に関し、名誉会員推薦の内意の照会に対する回答が遅れて到達した田中靖郎氏について、来年度総会に推薦手続きをとることとした。
- ・DAADAlumni 会主催のアジア会議の開催予定について事務局から報告があった。
- ・東日本フンボルト協会常務理事、DAAD 友の会会長、ケルン会会長等を歴任した故石川 明会員を偲ぶ会が 9 月 26 日に友の会とケルン会の共催で開催予定であることが事務局から報告された。

以上